

令和4年度大館市立西館小学校 学校自己評価書（年度）

評価

児童の 状況	自己評価	きわめて良好	自己	5	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標に対し100%以上達成
	Aと学校	良好	評価	4	実現状況は良好で意欲もある/数値目標に対し80~99%達成
	関係者評	おおむね良好	Bの	3	実現状況はおおむね良好/数値目標に対し60~79%達成
	価の評価	やや不十分	評価	2	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標に対し40~59%達成
	区分	努力を要する	基準	1	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標に対し39%以下の達成

学校運 営の 状況	自己評価	きわめて良好	自己	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	Aと学校	良好	評価	4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	関係者評	おおむね良好	Bの	3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	価の評価	やや不十分	評価	2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	区分	努力を要する	基準	1	目指す方向が不明確で取組体制や取り組み方に解決すべき課題が多い



スキー授業（3～6年生） 水晶山



夢を育む教室 コウライザー参上！



秋田大学4年 吉原夢さん 1日教育実習



6年生 総合 西豆キッズマーケット

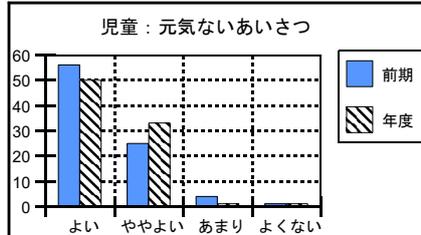
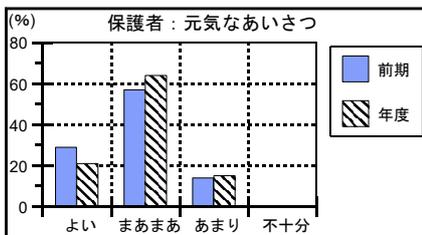
項目別評価

I 社会性の育成

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で協力し合い、充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	あいさつの声が大きくなってきている。活動を継続して褒めて伸ばしてほしい。情報共有の取組が、指導の共有に生かされている。
	年度	おおむね良好	良好	児童は元気なあいさつを意識して行動できている。その一方で、保護者からは、もっとあいさつをよくしたいという声もある。全体的に児童同士の関係性はよくなってきている。今後も個に応じたきめ細やかな指導を継続していただきたい。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】計画委員会による毎朝のあいさつ散歩、ハローウィークやあいさつビンゴ等の活動の継続により、あいさつに対する意識の高まりを感じている。お客様からも児童のあいさつを褒めていただく機会が増えてきた。生徒指導上の問題に関しては、教職員による情報共有や積極的な声掛けにより、未然防止に努めている。今後も、積極的に児童、保護者とのコミュニケーションを図り、いじめや不登校の未然防止につなげていきたい。			
	【年度→次年度】あいさつの大切さ、必要性については、様々な機会に、校長をはじめ教職員が一丸となって児童に伝えている。児童会では、あいさつを「相手に届ける」ための取組として、「目を見て、元気に、気持ちを込めて、笑顔で、はきはきと、全員で、伝わる声で、自分から」をキーワードに掲げて毎朝のあいさつ運動を行っている。職員も、「校内でのあいさつはよくなっている」という評価をしている。保護者アンケートの結果からは、家庭や地域でのあいさつに更なる向上の余地が見受けられる。対児童、対職員でよくなってきている校内でのあいさつが、来校者、地域にも広がるよう、これからも取組を継続していきたい。			

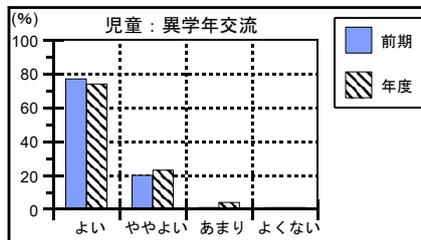
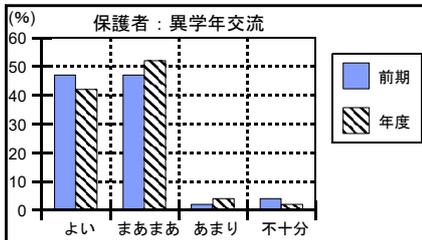
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣 (主体的実践力)	①元気なあいさつの励行	・学年あいさつ運動実施 ・ハローウィーク、あいさつ散歩	3	3
	②けじめある生活の習慣化			
2 集団生活・集団行動 (社会性)	③異学年交流の充実	・委員会、クラブ・縦割り班 ・係・当番活動、班での取組と振り返り	3	4
	④学級活動の充実			
3 組織的な生徒指導 (道徳性)	⑤共通理解に基づいた生徒指導 ⑥いじめ・不登校の防止と早期対応	・情報交換、子どもを語る会 ・いじめ調査後の教育相談、さわやか委員会による初期対応	3	4

【1に関するデータ】 教員評価 前期3. 2 → 年度3. 2



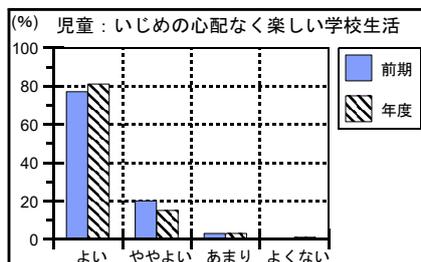
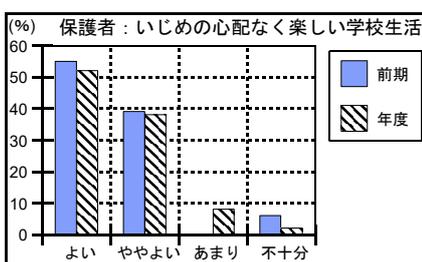
西つ子カーニバル

【2に関するデータ】 教員評価 前期3. 4 → 年度3. 5



西館ふるさとの日

【3に関するデータ】 教員評価 前期3. 4 → 年度3. 7

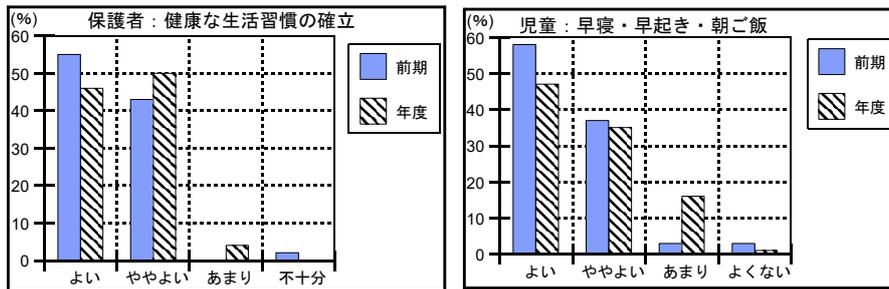


II 健康と体力

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
食や運動を通して健康や体力に関心をもち、望ましい態度や生活習慣を身に付けようとしている。	前期	おおむね良好	メディアコントロールは、各家庭で難しさを抱えていることも伺われる。学校での活動を一層進めてほしい。児童から、給食メニューの要望も聞いてほしいという声があった。体力向上は、現状のとおり進めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期→年度】「メディアコントロール」については、保護者と共に取り組む体制強化に向けて「おおだてONEONEカード」の結果から本校の実態を考察し、保健だよりで呼び掛けたり、取組の紹介をしたりしている。給食では低学年の魚嫌いが目立つ。食わず嫌いをなくすよう声掛けをしているが、今後も栄養教諭による食育授業を活用しながら、バランスよく食生活を意識付けていきたい。</p> <p>【年度→次年度】学年によって傾向に違いがあるが、「朝ご飯を食べること」「家で決めた約束を守ってゲームやタブレット、スマホなどのメディアを使うこと」が課題として挙げられる。3学期にがんばってほしいこととして始業式に全校児童に伝えるとともに、学校報、保健だよりでも保護者の方に伝えている。また、比内中学区の養護教諭部会で作成したメディアリデュースカップ（MRC）の取組をまとめた映像を児童に公開した。2月24日のPTAの際に、保護者の方にも見ていただく予定である。また、保健だよりを児童に配る際に、家庭での話題にしてもらえよう、内容について触れるようにしている。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 保健・食育指導の状況	⑦健康な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> メディアコントロール週間（年3回） 保健だよりの発行 栄養教諭と連携した食育の推進 	3	3
	⑧食育の推進			
5 体力づくり	⑨体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力パワーアップ マラソントイム・マラソン記録会 	3	4

【4に関するデータ】教員評価 前期3. 2→ 年度3. 1



【1年生 食育の授業】

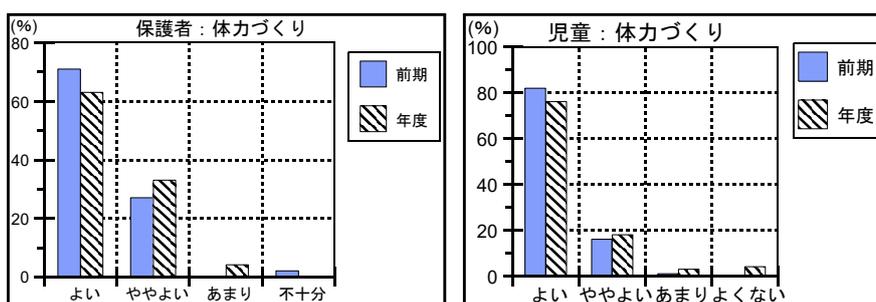


健康委員によるMRCの呼びかけと校内掲示



【児童朝会 健康委員会】
なわとびの技の紹介

【5に関するデータ】教員評価 前期3. 3→ 年度3. 8



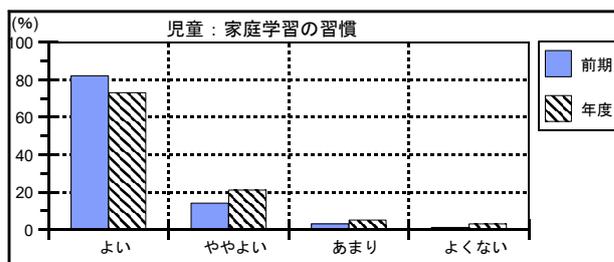
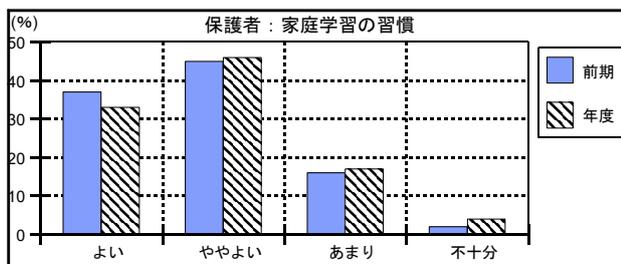
【マラソントイム】

III 基礎学力

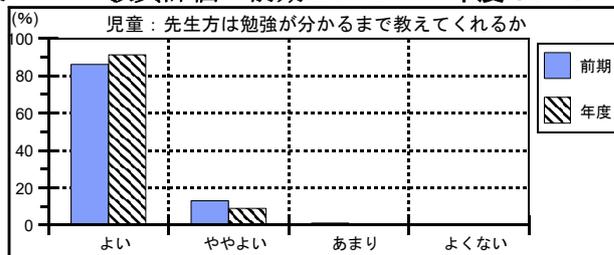
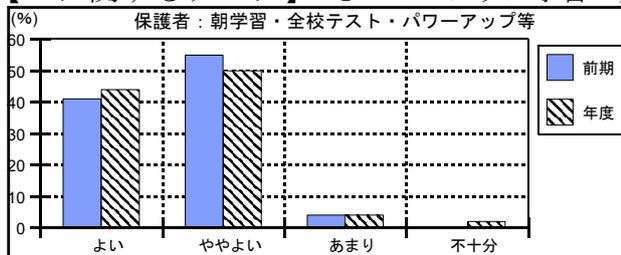
児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
意欲的に授業に臨み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	聴く姿勢の指導を中心に粘り強く指導していただきたい。座り方もよくなってきているので、先生方のご指導が生きてきている。言葉の質や話し方聴き方に関する課題も見えているので、保護者も協力して指導していただきたい。タブレット等の活用は、よくできている。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	家庭学習の習慣化を勧める指導を継続してほしい。県学習状況調査では県平均を上回る学年が増えており、学力は上向いている。今後も継続した指導をお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期→年度】共感的・協働的な学びを支える基本事項として、望ましい聴き方・話し方の指導に力を注いできた。話す人の方に体を向け、目と見て反応しながら聴くことを粘り強く指導している。ハンドサインや話型の活用により、「つながり・かかわり」のある全体の学び合いができてきている。タブレットの導入により、漢字練習や計算練習に意欲的に取り組む児童が多い。2学期からはコミュニケーションツールとしての使用も始めている。効果的な場面で有効活用できるよう研修を進めていきたい。</p> <p>【年度→次年度】秋田県学習状況調査の正答率は県平均を超える教科がほとんどで、昨年度より向上が見られた。授業改善の取組とともに、各家庭での家庭学習の見届け、励ましのおかげと思っている。しかし、保護者の学校評価アンケートの自由記述から、家庭学習の時間や一人勉強の内容について苦慮されている様子がうかがえた。学年末PTAに合わせたノート展で、他の子どもがどんな学習をしているのか、どんなノートの使い方しているのか、見合う活動をこれからも行っていくとともに、保護者の皆様にも参考にしていただくことで子どもたちの意欲付けにつながるしていきたい。基本的学習習慣の確立、発表意欲の向上については、粘り強い指導により成果が見られる。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 学習への取組	⑩基本的学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学習の約束の継続指導 朝学習、一人勉強 県配信問題の実施 学び合いの目的の明確化 「かがやきタイム」の充実 	3	3
	⑪基礎学力の定着			
	⑫生き生きと表現する力の育成			
7 諸学力調査の状況	⑬諸検査の結果分析と共通理解	<ul style="list-style-type: none"> 問題と質問紙票の分析、及び共通理解のための分析、会議の設定 回復指導の時間やパワーアップ学習の設定 授業改善につながる情報提供 	3	4
	⑭諸検査の分析を受けた対策・回復指導			

【6に関するデータ】 ○基本的学習習慣の確立 教員評価 前期3.0 → 年度3.1
 ○基礎学力の定着 教員評価 前期3.1 → 年度3.1
 ○生き生きと伝え合う力の育成 教員評価 前期3.2 → 年度3.1



【7に関するデータ】 ○パワーアップ学習の充実 教員評価 前期3.4 → 年度3.6



発表に意欲的な1年生



机間指導での見取り



自分の考えを伝え合う



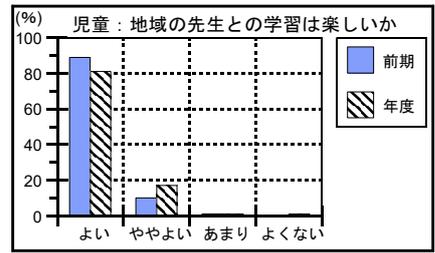
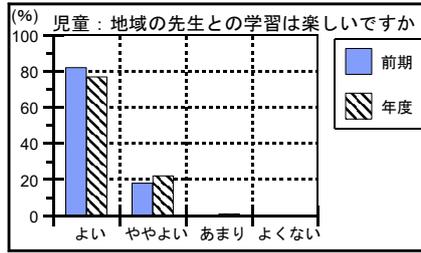
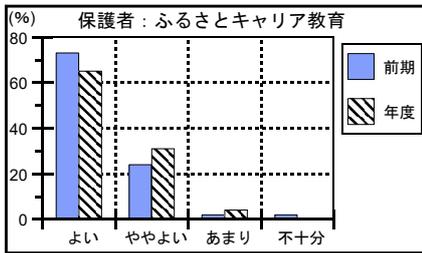
西館ミーティング

IV ふるさとキャリア教育

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
ふるさとへの愛着心もち、ふるさとに生きようとする気概を育てる。	前期	良好	良好	忙しい中でも、活動を推進できているのが素晴らしい。地域の課題をすぐ対応するなど地域との交流がうまくいっている。子どもたちの満足感のある活動になっている。 地域の教育人材を十分活用し、充実した活動の展開が図られている。単発で終わらず、次の学びにつなげてほしい。可能であれば地域へ発表もしてほしい。
	年度	良好	きわめて良好	
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】比内支援学校との交流会（4年）や枝豆の植え付けと収穫（5年）、そして株式会社経営学習（6年）等、西館ならではの特色ある取組を行っている。クラブ活動では、小新田のぶどうに焦点を当てて活動する「KGP：小新田グレーププロジェクト」を継続している。夢を育む教室は1学期に1回行った。また、町探検や社会科見学等の校外学習で地域の人や物に興味関心が高まっている。今後も、地域の方々との関わりを増やすことで、地域に誇りをもつことができるよう仕掛けていきたい。			
	【年度→次年度】地域の皆様方のご理解とご協力により、各学年の校外学習や外部講師を招いての講話などたくさんの方々に関わっていただきながら学習を進めることができた。6年生の株式会社経営の学習は、今年度も大館商工会議所の柴田さんにご協力いただき、計画どおり進めることができた。活動をまとめたプレゼンが、第2回大館ふるさとキャリア教育作品コンクールで特別賞をいただいた。夢を育む教室は、2回実施した。6年生児童をインタビューにして進化したことにより、全体的に積極的に参加するようになった。質問や感想発表も活発になっている。次年度の夢を育む教室では、子どもたちの将来の夢や学校経営方針に関わるものを講師選定の参考にしていきたい。また、校外学習でふるさとの産業にも目を向けさせていきたいと考えている。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 ふるさとに対する愛着心と誇りの醸成	⑮たくましく豊かな心を育てる体験活動	<ul style="list-style-type: none"> 各教科、特活、総合的な学習の時間における体験活動の推進 外部機関との連携 地域の人材の職業観に触れる学習活動の推進 	4	4
	⑯夢を育む活動の推進			

【8に関するデータ】○たくましく豊かな心を育てる体験活動 教員評価 前期3. 8→年度3. 8



○ふるさとキャリア教育・夢を育む活動について 教員評価 前期3. 4→年度3. 8

V 組織・運営

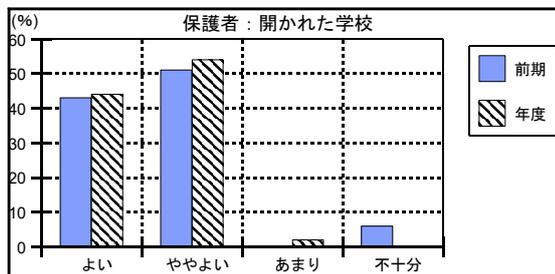
学校の状況		自己評価 A	学校関係 者評価	学校関係者評価委員コメント
特色ある開かれた学校づくりを計画的・組織的に行っている。	前期	良好	良好	HPやブログだけでなく、学校報を全戸配布するなど地域の実態に合わせて情報提供をしているのは有効である。また、学校行事も制限のある中で、十分実践できている。学校報の全戸配布により、経営目標・経営方針の周知と浸透が図られている。西館ふるさとの日の実行委員会の活動は主体性の育成に効果的である。
	年度	良好	良好	
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】今年度も学校報やブログ、学年だよりを通じて、経営方針や取組、児童の様子等が伝わるように、記事を工夫している。また、あらゆる機会に、保護者や地域の方と直接お話をすることでよりよい関係性を築くことを心掛けている。学校行事は、依然として制限付きではあるが、その時の状況を見極めながら、できるだけ、保護者や地域の方と「つながり・かかわり」がもてるよう心掛けて経営を行ってきた。今後も、会話を大事にして、保護者・地域方々との相互理解を深めていきたい。おおだて型学力に関しては、常に「つながり・かかわり・挑戦」を意識した取組を継続して、子どもを育てていきたい。			
	【年度→次年度】学校報を読まれた地域の方から、職員の取組に対するお褒めの言葉をいただいたり、小学生のいない世帯の方が、書き損じハガキを届けてくださったりと、学校報による地域とのつながりを実感できた。保護者アンケートには「子どもの人数が減り、学校報の全戸の負担が大きいため、隔月配布を検討してほしい」という記述があり、職員間で検討を行った。これからPTA校外部、学校後援会とも相談していくことになるが、職員間では、「学校の情報をタイムリーにけたいのでこれまでどおり毎月配布をお願いしたい。」となった。 児童による「西館ふるさとの日実行委員会」を組織し、児童が主体となって活動できるように取り組んで2年目の今年、教師のリードは不可欠であるが、高学年を中心に有志が集まり、企画や呼び掛けを行った。自分たちの行事だという思いが深まっている。西っ子カーニバルも児童主体で準備を行い、縦割清掃班ごとに仲よくゲームを楽しんだ。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 学校の明確な運営及び責任体制	⑰学校内外への経営方針の発信及び責任の所在の明確化	・ホームページや学校報等による校長の経営方針、思いの明示・発信	4	4
	⑱情報収集等による経営の改善、及びその具体化	・学校評価等による経営改善 ・外部機関との連携及び情報収集		
10 教育課程の編成と実施	⑲「おおだて型学力」を育てる教育課程の編成	・縦割り活動と各行事の推進 ・児童の手による全校活動の場の設定・自主性や反応力を鍛える行事等の工夫	4	4
	⑳重点施策の具現に向けた教育課程の実践	・授業時数の確保と時間割の工夫 ・PDCAに基づく時程の弾力的な運用		

【9に関するデータ】

教員評価 前期3.7→年度3.7

- 保護者アンケート：教育目標や経営方針などを分かりやすく伝え、開かれた学校となるように取り組んでいると思うか。



- 各行事は効果的に実施されていると思うか。



【10に関するデータ】

教員評価 前期3.5→年度3.6

- 「おおだて型学力」に対応して西館スタイル「かがやきタイム」や「協働的学び」の取組を推進。

西館ミーティングの取組

「異学年で話し合うことを通して、「話す・聞く力」を向上させるとともに、いろいろな意見に触れて、自分の考えを広げたり深めたりする。」ことをねらいとして、西館ミーティングを始めた。

内容

- ・全校朝会として行う（10分程度）
- ・全体の企画（テーマの決定）・進行は、該当学年が担当する
- ・楽しいテーマでも、課題解決的なテーマでも、どちらでもよい
- ・話し合いで結論を出す必要はない
- ・話し合いは縦割り班をベースにする
- ・話し合いのリードは高学年が協力して行う

全校が集まる場でも、積極的に感想を述べる児童が増えてきた。来年度以降も継続していく。

VI 保護者・地域との連携

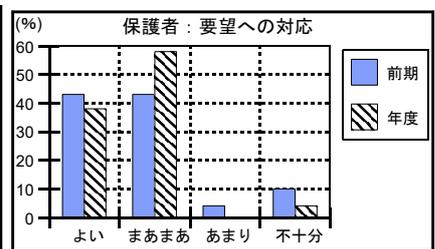
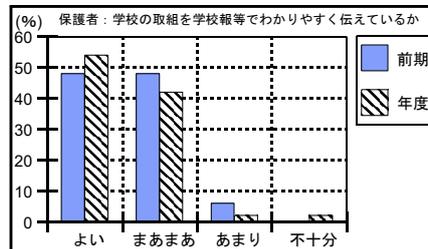
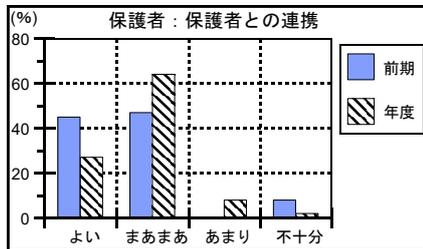
学校の状況		自己評価A	校関係者評	学校関係者評価委員コメント
学校の取組を保護者、地域に分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に生かしている。	前期	良好	良好	地域の力を存分に生かしている。相談や要望に関しては、今後も丁寧な対応をお願いしたい。
	年度	良好	良好	学校報の全戸配布等を通じて学校と地域のつながりを大事にしている。地域の教育資源人材の活用が十分図られており、よい関係性が築かれている。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】今年度は、天候に恵まれPTAの環境整備作業を行うことができた。また、学校農園作業にもご協力をいただくことができた。依然としてコロナ禍により外部との交流活動には制限があるが、できる限りの感染対策を講じて、外部との関わりを確保しながら活動できている。地域、保護者への情報発信については、学校報、学年だより、HP等で、今後も学校の取組を分かりやすく伝えていきたい。			
	【年度→次年度】各学年とも児童の様子が伝わるように写真や児童の感想を載せた学年だよりを発行している。「学年だよりが楽しみだ。」という保護者アンケートの自由記述もあった。保護者からの要望に十分に答えていないという回答については、今年度も具体的な記述がなかったため理由が分からないが、人伝えでもよいので声を届けてほしいということ伝えていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 地域の教育力の活用	㉑地域・異校種との双方向の連携・協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援活動事業の推進 学校後援会との連携 保・小中・支援学校との連携 	4	4
12 情報の受発信	㉒広報活動の充実と学校開放の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校報・ホームページ等による情報の受発信 	4	4

【11・12に関するデータ】

○保護者アンケートから

- PTAや後援会との連携など、保護者や地域との連携がうまくなされていると思うか。
- 学校は、学校の取組や子どもたちの様子などを、学校報、学年だより、HP等で分かりやすく伝えていると思うか。
- 学校は、保護者からの相談や要望などについて適切に対応していると思うか。



○地域の教育力の活用教員評価 前期3.6 → 年度3.6

クラブ活動における地域人材の活用

クラブ活動・・・4～6年生

1回60分で年間11回実施

巫女舞、茶道、クラフト、パソコン、将棋、ニュースポーツ、クッキング、KGPで地域の方にご指導いただいた。巫女舞クラブは、郷土芸能発表会と比内とりの市で舞を披露する機会をいただいた。



とりの市で巫女舞を披露



防犯協会見守り活動



KGPクラブ ぶどう収穫

○学校報、ホームページ等による情報の受発信 教員評価 前期3.8 → 年度3.5

Ⅶ 教師の研修

学校の状況		自己評価 A	学校関係 者評価	学校関係者評価委員コメント
学校教育のレベルアップのために教職員が目標をもって意欲的に研修を行っている。	前期	良好	良好	先生方の研修体制が充実している。自己評価にも表われており、内容が若い先生方への浸透していることが伺われる。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	若い先生方を支え、その成長のための指導や共通実践を大事にしている。今後も、日々新しい研修に励んでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】特別支援教育をはじめ、指定教科、研究教科のいずれも計画的・組織的に授業研究が行われている。学校訪問や授業参観も研修の場と位置付け、日々授業研究に励んでいる。市教委より出された「第0次学力向上に関する提言」に掲げた「おおだて型学力」の確立に向けて、共通理解、具現化の場を設け、授業改善に全職員で取り組んできている。若手教員が多いが、「チーム西館」として教師全体の指導力向上を図り、児童の学習意欲の向上と確かな学力の定着を図っていききたい。			
	【年度→次年度】校内研究会や授業力向上研修、指定訪問等の研修の場を積極的に活用し、研修を深めたり情報の共有化を図ったりすることができた。ベテランの授業力を若手が学んだり、若手のやる気にベテランが刺激を受けたりと、相乗効果により授業が活性化している。ICTを活用した授業は、今年度始まったばかりである。効果的な活用方法について検討を進めていくためにも積極的に授業に取り入れている段階である。児童の興味、関心を高める効果があるが、板書としても見える形で残したいという課題も見えてきている。 「Ⅲ 基礎学力」でも触れたが、学習状況調査の結果は向上している。3学期も残り少なくなったが、授業の充実が学力向上の要である。日々の授業を充実させて、次の学年に向けてのまとめをしっかりと行っていききたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 研修の実施	㉓計画的、組織的な研修の推進	・年間研修計画の立案と校内外の研修・情報の共有化	4	3
14 授業力の向上	㉔計画的な研究授業の実施と成果・課題の把握と改善	・事前研、事後研の計画的な運営 ・授業改善に向けた施策 (伝えるパワー、かがやきタイム、振り返りの視点等)	4	4

【13に関するデータ】
教員評価 3.8 → 年度 3.4
 ・年間の研修の計画をもとに、授業研究を全員で行い、授業改善に生かしている。
 【14に関するデータ】 **教員評価 3.8 → 年度 3.5**

【今年度の授業研究会等】

- 6月16日 第1回授業研究会（6年算数）
- 6月17日 第2回授業研究会（指定訪問）（4年特別活動）
- 7月5日 肢体不自由学級設置校訪問（5年あおば学級自立）
- 9月8日 通常の学級実践研修－特別支援員配置校研修－（2年算数）
- 10月20日 市教育研究会第2回総合研究会（1年音楽）
- 11月17日 第3回授業研究会（指定訪問・市教委訪問）（2年算数 5年算数）
- 2月7日 第4回授業研究会（3年算数）
- 3月 全体研修会



4年 特別活動



あおば 自立 ICT活用



2年 教育支援員配置校研修



2年 算数 自力解決



5年算数 ペア学習



研究協議 ワークショップ 共有